

大阪・関西万博で展示された「家庭で作る霜降り肉」をあなたの町にも！／

## 培養肉の全国展示の実現に向けた クラウドファンディングを実施

### ❖ 概要

大阪大学工学研究科は、運営パートナーとして参画している「培養肉未来創造コンソーシアム」が 2025 年日本国際博覧会(以下、大阪・関西万博)の大阪ヘルスケアパビリオンで協賛した「家庭で作る霜降り肉」ブースの内容を、全国の科学館で再現するプロジェクトを実施するため、2025 年 12 月 12 日(金)より、クラウドファンディングを立ち上げます。

このプロジェクトは、万博に行けなかった・万博に行ったけど見られなかった、特に若い世代や子供たちをはじめとした幅広い層の方に培養肉を見て・知っていただき、本研究成果の意義や有用性に触れていただくことを目的としています。プロジェクト実現には輸送などにかかる費用が必要なため、クラウドファンディングを通じて、応援していただける皆様からのご支援を募ります。



大阪ヘルスケアパビリオンにおける主催者展示  
「家庭で作る霜降り肉」

### ❖ クラウドファンディング概要

実施期間: 2025 年 12 月 12 日(金)9 時～2026 年2月9日(月)23 時

目標金額・方式: 500 万円・All or Nothing 形式(寄付金控除型)

寄付ページ URL(READYFOR): <https://readyfor.jp/projects/cultured-meat>

このたびのクラウドファンディングでは、全国各地の科学館での「家庭で作る霜降り肉」ブース展示に際して必要となる輸送費および展示のメンテナンス費用を募ります。1 つの科学館での開催につき、およそ 50 万円～100 万円の費用が必要と見込んでおります。

実施期間内に上記の目標金額(500 万円)を超えるご寄付をいただいた場合は、第二目標金額(2000 万円)を設定し、継続的な開催に必要な費用を募ってまいります。

なお、本クラウドファンディングでは、高額寄付いただいた方に以下の還元を予定しております。

- 10 万円以上: 培養肉未来創造コンソーシアムの総会に参加いただけます。
- 50 万円以上: 培養肉未来創造コンソーシアムの総会および大阪大学の培養肉社会実装共同研究講座の見学ツアーに参加いただけます。
- 100 万円以上: 培養肉未来創造コンソーシアムの総会および大阪大学の培養肉社会実装共同研究講座の見学ツアーに参加いただけます。さらに、焼いた培養肉の香りを嗅ぐ体験に参加いただけます。

❖ 今後の展開について

「家庭で作る霜降り肉」ブースの展示は、2025 年 12 月上旬に大阪科学技術館で展示を開始し、その次は東京での展示を予定しています。クラウドファンディングが成功したら、全国の科学館へ順次展開していく予定です。



❖ 培養肉未来創造コンソーシアムについて

「培養肉未来創造コンソーシアム」は、2023 年に大阪大学大学院工学研究科・株式会社島津製作所・伊藤ハム米久ホールディングス株式会社・TOPPAN ホールディングス株式会社・株式会社シグマックスにより設立されました（2024 年 5 月に ZACROS 株式会社が参加）。培養肉は、人口増加に伴うタンパク質の供給不足および温室効果ガス排出などによる環境問題への解決策の1つとしての可能性を持っています。本コンソーシアムは、3D バイオプリントによる培養肉製造技術の社会実装に向けて協業しており、大阪・関西万博での展示はその活動の一環でした。詳細は「培養肉未来創造コンソーシアム」ウェブサイト（<https://cficm.jp/>）をご覧ください。

❖ 培養肉未来創造コンソーシアムの運営パートナーとしての役割および問い合わせ先

・大阪大学大学院工学研究科

役割：3D バイオプリント技術の開発推進

URL：<http://www.chem.eng.osaka-u.ac.jp/~matsusaki-lab/>

E-mail：[m-matsus@chem.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:m-matsus@chem.eng.osaka-u.ac.jp)

取材申込フォーム：<https://forms.office.com/r/7dq9mBvSWb>

・株式会社島津製作所

役割：3D バイオプリント技術の自動化、培養肉の食味や香りなどの分析・評価、培養に係る分析などの周辺技術開発推進、自動生産に適した培地の開発、組織化と成熟化、培養プロセスのモニタリングとフィードバック

URL：<https://www.shimadzu.co.jp>

お問い合わせフォーム：<https://solutions.shimadzu.co.jp/form/press/contact.html>

・伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

役割：培養肉の基となる良質な食肉細胞の提供、3D バイオプリント技術で製造された培養肉の官能検査、組織化と成熟化等の周辺技術開発の推進

URL：<https://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

お問い合わせフォーム：<https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/inquiry/index.html>

・TOPPAN ホールディングス株式会社

役割：3D バイオプリント培養肉製造技術の筋および脂肪組織の最適化、細胞外マトリックス材料（バイオインク・つなぎ材）の開発および 1 次包装等に資する周辺技術開発推進

URL：<https://www.holdings.toppan.com/>

お問い合わせフォーム：<https://www.holdings.toppan.com/ja/inquiry.html>

## ・株式会社シグマクシス

役割: 周辺技術やノウハウを有する企業および団体との連携を促進するとともに、活動計画と進捗管理、課題管理などを行い、コラボレーションを加速させるプロジェクト・マネジメント・オフィスとして参画

URL: <https://www.sigmaxyz.com/sx/>

E-mail: [sxpr@sigmaxyz.com](mailto:sxpr@sigmaxyz.com)

## ・ZACROS 株式会社

役割: 再生医療用ヒト細胞の培養で培ってきた細胞のスケールアップ技術を活用、培養肉の社会実装に不可欠な、細胞の大量培養技術の開発

URL: <https://www.zacros.co.jp/>

お問い合わせフォーム: <https://www.zacros.co.jp/contact/>

## ❖ 本件に関する問い合わせ先

大阪大学 大学院工学研究科 教授 松崎 典弥(まつさき みちや)

TEL: 06-6879-7356 FAX: 06-6879-7359

E-mail: [m-matsus@chem.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:m-matsus@chem.eng.osaka-u.ac.jp)